

市民アンケート調査の結果について

(1) 調査の概要

①調査の目的

○都市計画マスタープランの改定にあたり、市民の意見を反映しながら、本市の目指すべき将来の姿や都市づくり・都市計画の基本的な考え方を検討するため、市民アンケート調査を実施しました。

②調査対象及び調査方法

○小牧市在住の 18 歳以上の方を対象に 3,000 人を無作為に抽出し、調査票を郵送により発送・回収

表- 市民アンケートの概要

項目	内容
調査対象	小牧市在住の 18 歳以上の方
配布数	3,000 通
調査方法	調査対象者の中から無作為に抽出
調査時期	平成 30 年 8 月 31 日～平成 30 年 9 月 10 日

③配布数及び回収結果

○配布数 3,000 通に対し、1,566 通を回収

表- 市民アンケートの回収状況

配布数	回収数	回収率
3,000	1,566	52.2%

④集計方法

○比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下 2 位を四捨五入した数値で表示しているため、合計が 100% を前後する場合があります。また、各設問の結果のコメントについては、小数点以下 1 位を四捨五入した整数値で表記しました。

○前回の市民アンケートからの市民意向の変化を把握するため、前回アンケート結果を合わせて表記しました。

表- 前回市民アンケートの概要

項目	内容
調査対象	小牧市在住の 18 歳以上の方
配布数	3,000 通
調査方法	調査対象者の中から無作為に抽出
調査時期	平成 21 年 2 月 13 日～平成 21 年 2 月 27 日
回収状況	回収数：1,729 回収率：58%

⑤標本誤差

- 本調査では、1,566 人から回答結果を得ていますが、これがどの程度の精度を持った回答結果であるかを示す指標として「標本誤差」があります。
- 本調査における標本誤差の範囲は、信頼度 95%とした場合、次表のように算出されます。基準値からの比較等には、次表を加味してご覧ください。

表 標本誤差の早見表(信頼度 95%)

回答数	回答比率				
	10%または 90%	20%または 80%	30%または 70%	40%または 60%	50%
1,566	±1.5%	±2.0	±2.3%	±2.4%	±2.5%

- この表は、例えば「回答比率が 60%であった場合、この回答比率の誤差の範囲は±2.3%以内(57.7%～62.3%)である」とみることができます。

(2) 調査結果

①基本属性

<性別・年齢・職業・自動車運転の有無・公共交通（鉄道、バス）の利用頻度>

○回答者の性別は「男性」が約41%、「女性」が約50%を占めている。

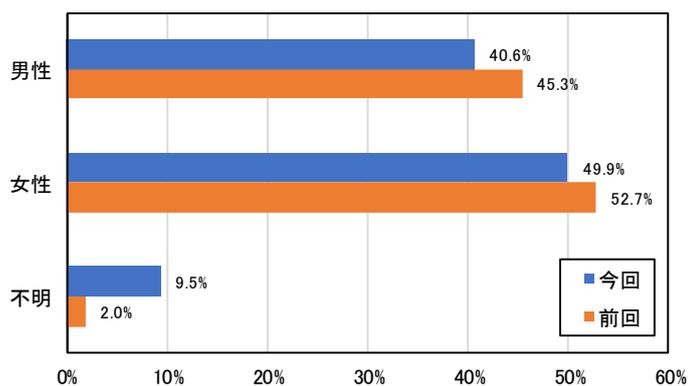
○年齢では、「70歳以上」が最も多く、約25%を占めている。

○職業では、「勤め人」が最も多く、前回調査で2番目に多かった「専業主婦・主夫」の割合が減少し、前回項目が無かった「無職」が二番目に多い約22%を占めた。

○自動車運転の有無については、「日常的に運転する」が約72%を占めている

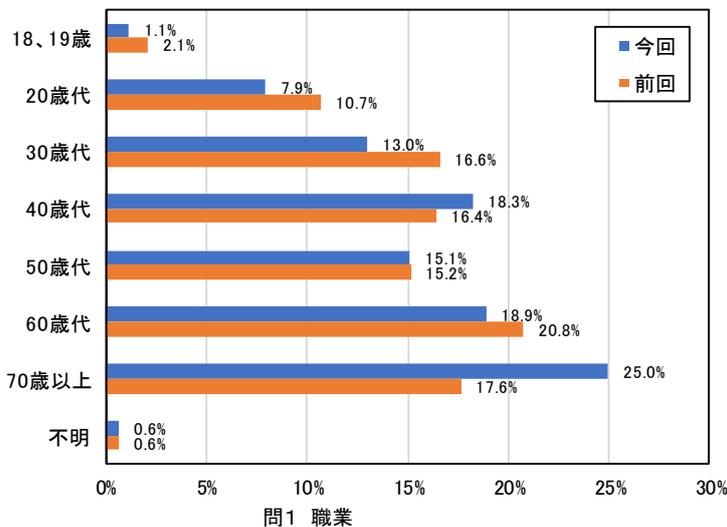
○公共交通の利用頻度は「年に数回」が約45%と最も多く、次いで、「利用しない」が約22%を占めている。

問1 性別



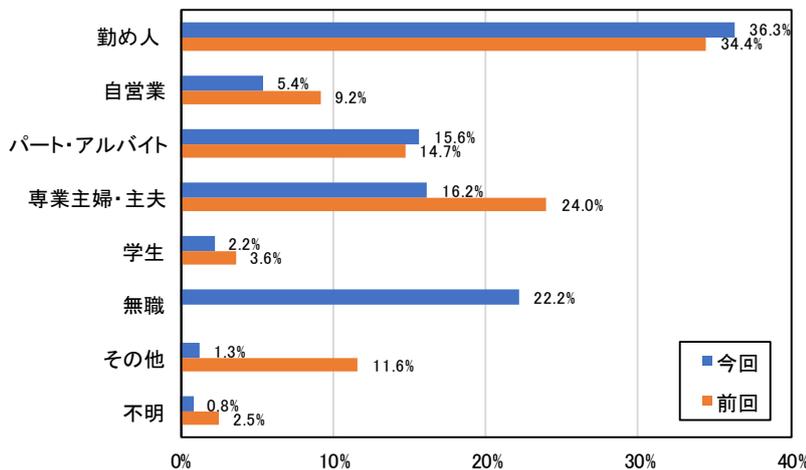
今回 N=1,566
前回 N=1,729

問1 年齢

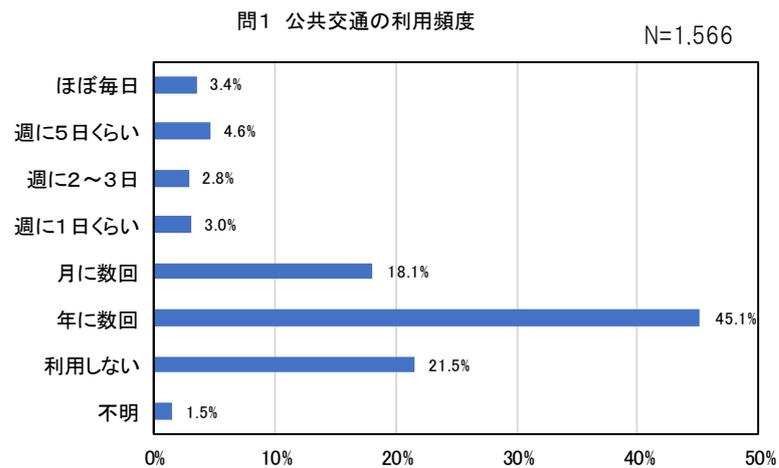
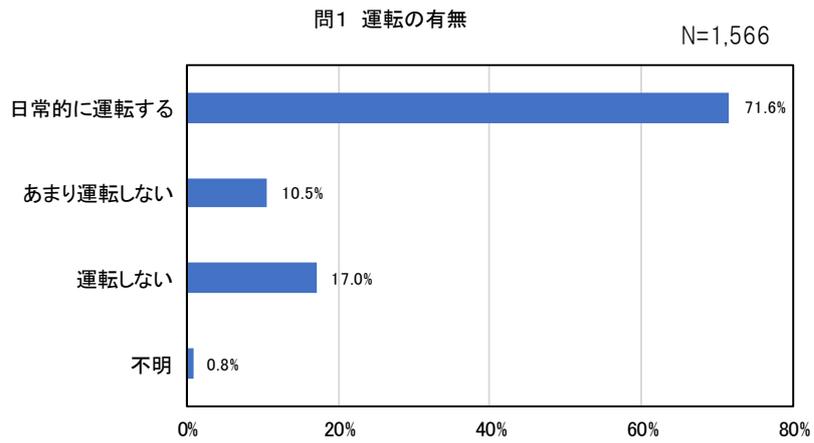


今回 N=1,566
前回 N=1,729

問1 職業

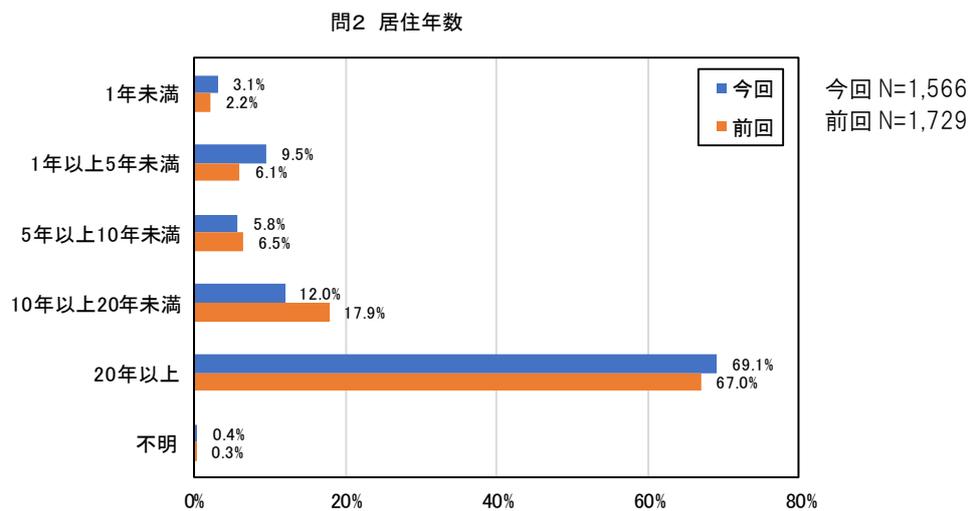


今回 N=1,566
前回 N=1,729



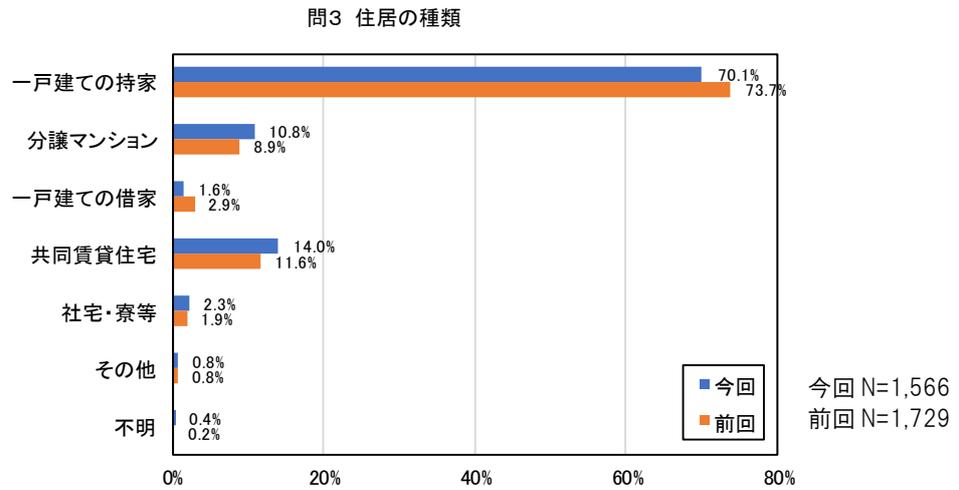
<居住年数>

○居住年数では、「20年以上」が約69%と最も多い。



<住居の種類>

○住居の種類では、「一戸建ての持家」が約 70%を占め、次いで共同賃貸住宅が 14%となっている。



②住んでいる地域の生活環境や将来像について

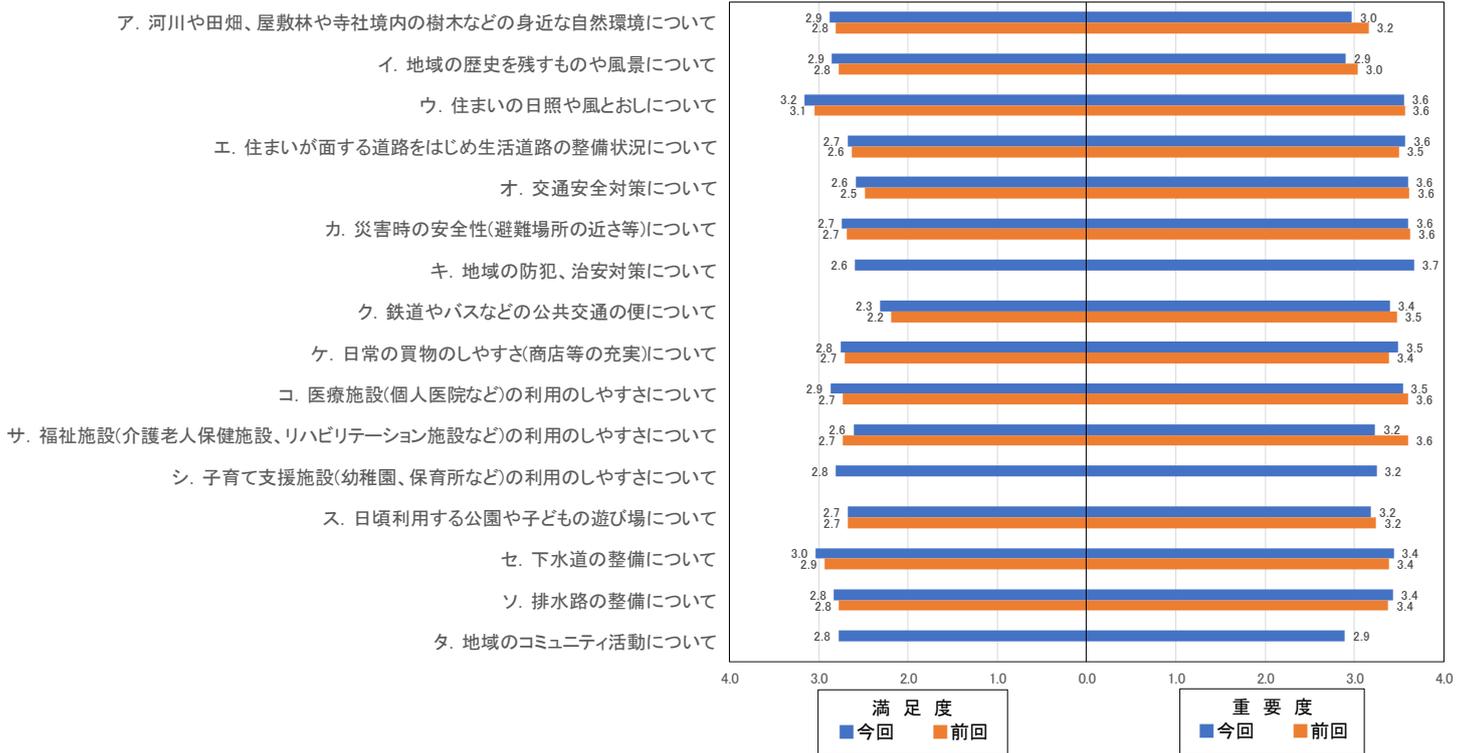
<満足度・重要度>

○居住地区の満足度は、「住まいの日照や風とおし」(平均得点 3.2 点)が最も高く、次いで「下水道の整備」が高くなっている。満足度が最も低いのは「鉄道やバスなどの公共交通の便」(2.3 点)である。前回調査と比較すると、すべての項目で満足度平均得点は高くなっている

○重要度は、「地域の防犯、治安対策」(平均得点 3.7 点)が最も高く、次いで「住まいの日照や風とおし」、「住まいが面する道路をはじめ生活道路の整備状況」、「交通安全対策」、「災害時の安全性(避難場所の近さ等)」(3.6 点)の 4 項目が高くなっている。

問4 お住まいの地域に対する満足度・重要度

今回 N=1,566 前回 N=1,729

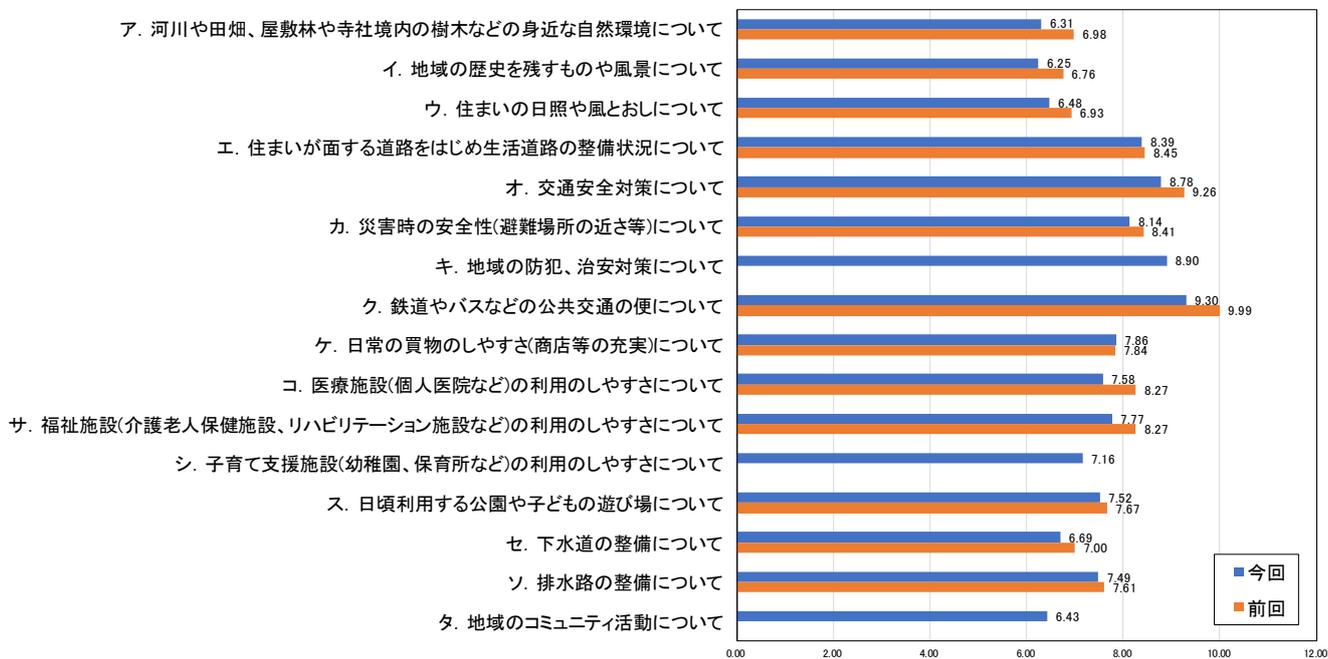


<ニーズ平均得点>

○居住地区の環境や日常生活に対する満足度と重要度から得点をつけた結果、「鉄道やバスなどの公共交通の便について」(9.30 点)、「地域の防犯、治安対策」(8.90 点)、「交通安全対策」(8.78 点)、「住まいが面する道路をはじめ生活道路の整備状況」(8.39 点)の順に必要な性が高い。

問4 お住まいの地域に対するニーズ平均得点

今回 N=1,566 前回 N=1,729



平均得点の算出方法

居住地区の環境や日常生活に関する各項目の満足度及び重要度について、下記の方法により4段階の得点を付け、平均得点を算出する。

満足度・重要度平均得点(4点に近いほど満足度・重要度が高く、1点に近いほど低い)

満足度	重要度	得点
満足	重要	4点
まあ満足	まあ重要	3点
やや不満	あまり重要でない	2点
不満	重要でない	1点
不明	不明	未集計

満足度の平均得点

$$= \{ \text{「満足」} \times (4点) + \text{「まあ満足」} \times (3点) + \text{「やや不満」} \times (2点) + \text{「不満」} \times (1点) \} / \text{回答数}$$

重要度の平均得点

$$= \{ \text{「重要」} \times (4点) + \text{「まあ重要」} \times (3点) + \text{「あまり重要でない」} \times (2点) + \text{「重要でない」} \times (1点) \} / \text{回答数}$$

1人1項目あたりの得点から全体平均を算出し、これを満足度・重要度の指標とする。平均得点は、4点に近いほど満足度または重要度が高いことを示し、逆に1点に近いほど満足度が低い(不満度が高い)、または重要度が低いことを示している。

ニーズ平均得点の算出方法

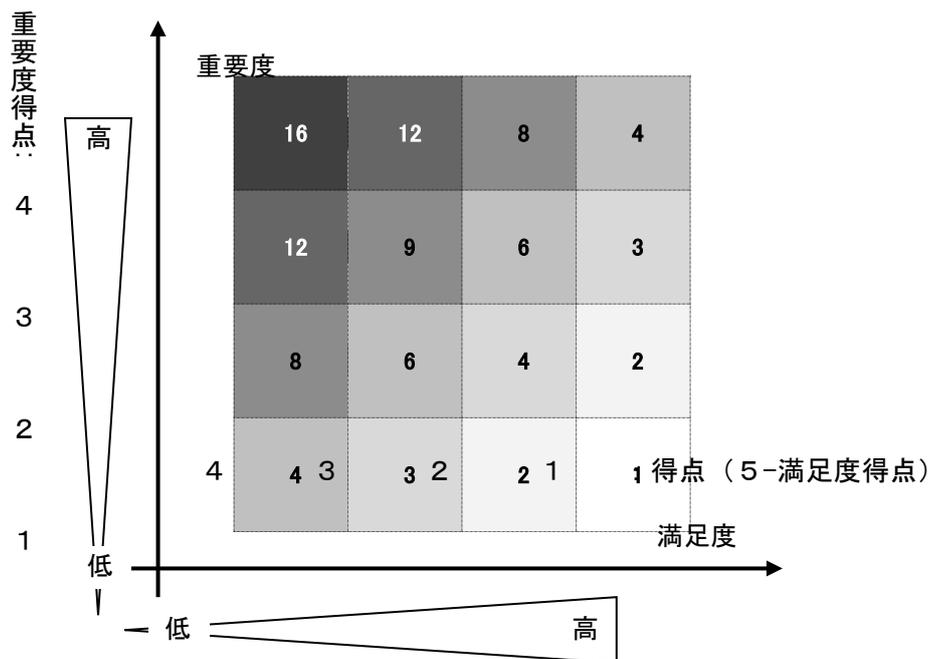
居住地区の環境や日常生活に関する各項目の満足度・重要度を下記の方法によりニーズ得点化し、各項目に対する市民ニーズを相対比較する。

ニーズ得点(最高点16点:「満足度」が低く、かつ「重要度」が高いもの)

$$\boxed{\text{ニーズ得点}} = \boxed{\text{重要度得点}} \times (5 - \boxed{\text{満足度得点}})$$

満足度得点		重要度得点	
満足	(4点)	重要	(4点)
まあ満足	(3点)	まあ重要	(3点)
やや不満	(2点)	あまり重要でない	(2点)
不満	(1点)	重要でない	(1点)
不明	(未集計)	不明	(未集計)

なお、ニーズ得点は下図に示すように「満足度が低く、重要度が高いほど高得点となる」ことから得点の高い項目ほど、その施策実施に対する市民ニーズが相対的に高い(施策の相対的優先性が高い)と考えることができるが、得点自体が市民ニーズの絶対的高さを示すものではない。(色の濃いエリアに入る項目の方が薄いエリアに入る項目に比べ市民ニーズが高い)



1人1項目あたりのニーズ得点から全体平均を算出し、これ(ニーズ平均得点)を市民ニーズの指標とする。

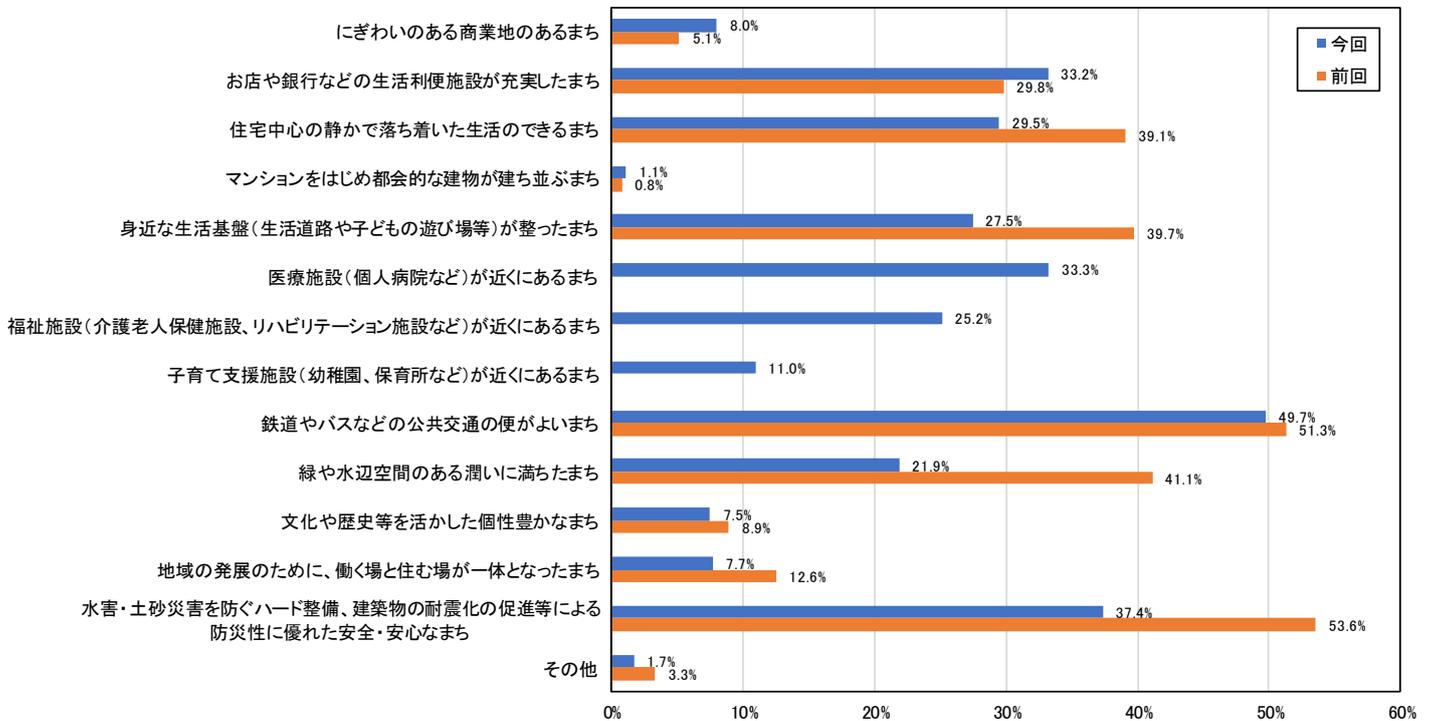
$$\boxed{\text{ニーズ平均得点}} = \boxed{\text{ニーズ得点}} \text{の合計} / \text{回答数}$$

<地区の将来像>

○回答者の約50%が、概ね10～20年後の居住区が、「鉄道やバスなどの公共交通の便がよいまち」になればよいと考えている。前回調査と比較すると、「緑や水辺空間のある潤いに満ちたまち」、「水害・土砂災害を防ぐハード整備、建築物の耐震化の促進等による防災性に優れた安全・安心なまち」の回答割合が大きく低下した。

問6 10～20年後のお住まいの地域について

今回 N=1,566 前回 N=1,729



※1.この設問の回答方式は、回答者の考えに近い選択肢を3つまで選択する方式である

※構成比の母数は全回答者数である

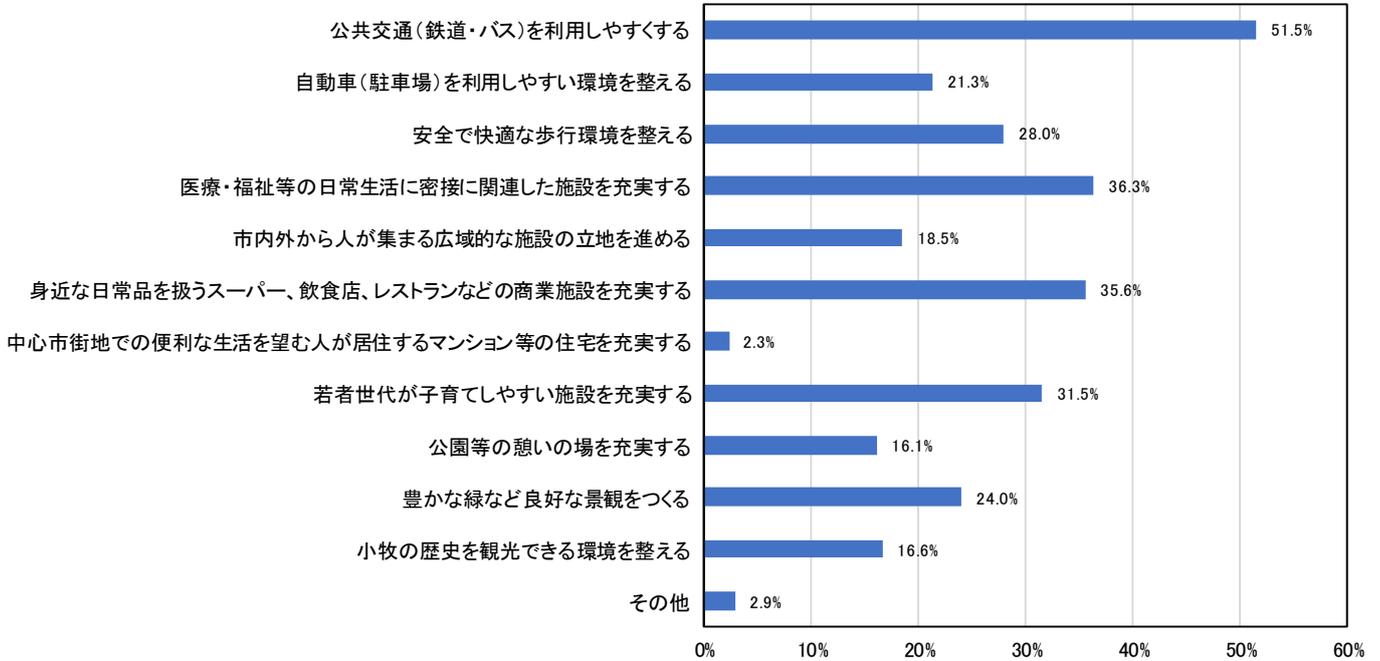
※前回アンケートの設問から「医療施設(個人病院など)が近くにあるまち」、「福祉施設(介護老人保健施設、リハビリテーション施設など)が近くにあるまち」、「子育て支援施設(幼稚園、保育所など)が近くにあるまち」を今回新たに選択肢に追加したため、前回と今回のアンケートで構成比が大きく異なる選択肢がある

③中心拠点の今後のまちづくりの方向性について

- 回答者の約 51%が、「公共交通(鉄道・バス)を利用しやすくする」が必要だと考えている。
- 「医療・福祉等の日常生活に密接に関連した施設を充実する」、「身近な日常品を扱うスーパー、飲食店、レストランなどの商業施設を充実する」についても 35%以上の回答者が必要と回答している。

問7 今後のまちづくりについて

N=1,566



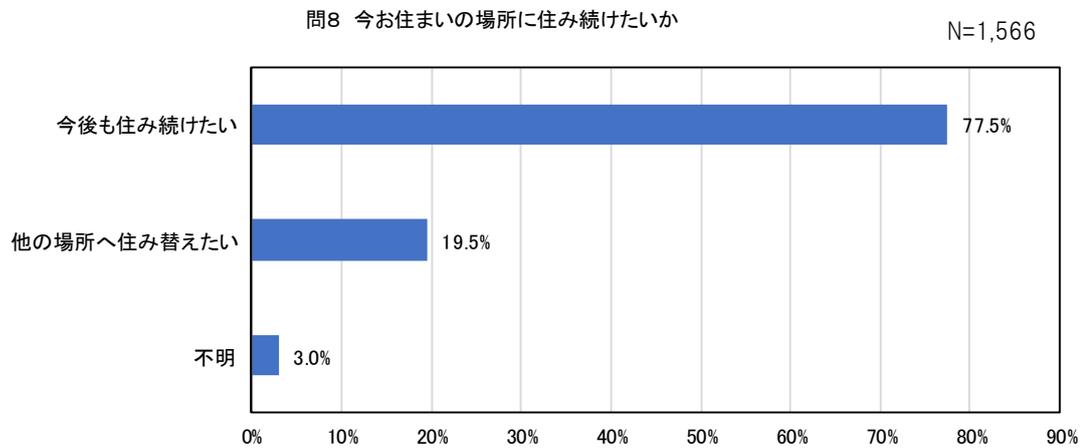
※1.この設問の回答方式は、回答者の考えに近い選択肢を3つまで選択する方式である

※構成比の母数は全回答者数である

④定住・住み替え意向について

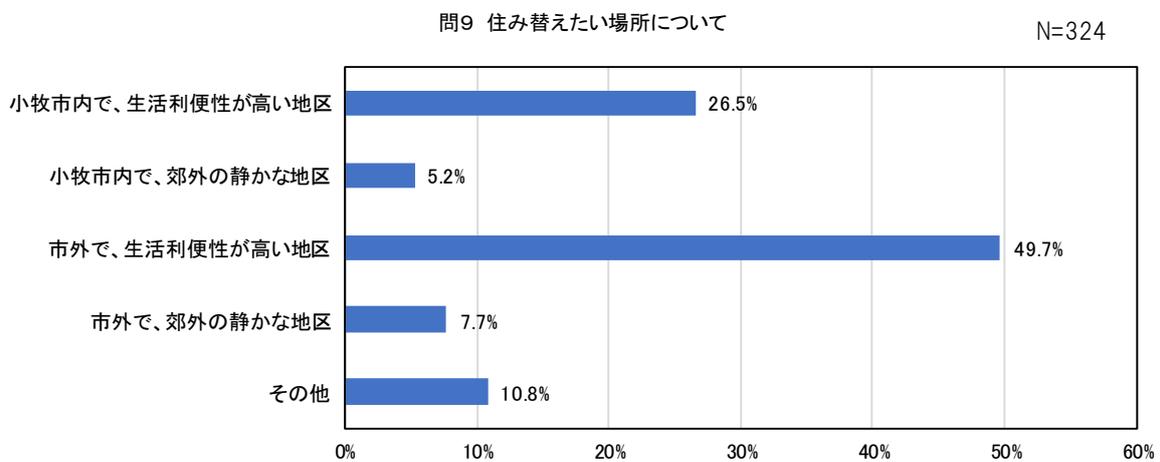
<今後の居住意向>

○現在の居住場所に「今後も住み続けたい」が約 78%と他の回答項目を大きく上回ったものの、「他の場所へ住み替えたい」が約 20%を占めている。



<住み替えたい地区>

○「市外で、生活利便性が高い地区」が約 50%、「小牧市内で、生活利便性が高い地区」が約 27%であり、住み替えを希望する人は生活利便性が高い地区を望んでいる。



※構成比の母数は問8で2を選択した回答者の合計である

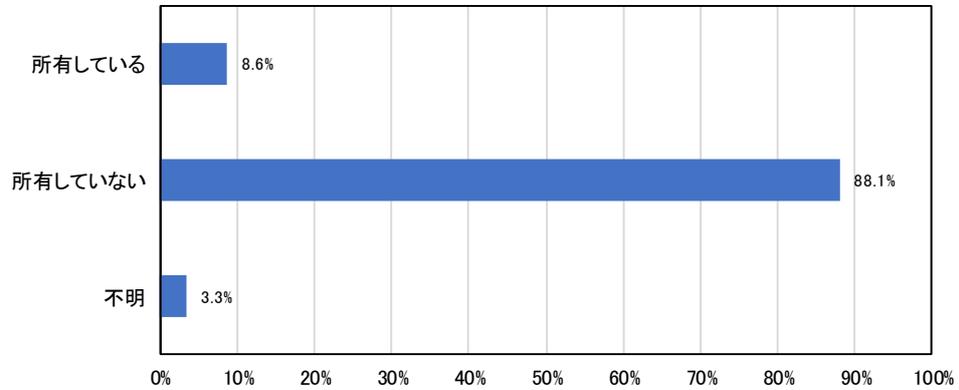
⑤市街化調整区域の農地や山林の使い方について

<農地（田畑）や山林の所有の有無>

○市街地調整区域内に農地(田畑)や山林を「所有している」回答者の割合は約 9%を占めている。

問10 市街化調整区域の農地や山林の所有について

N=1,566

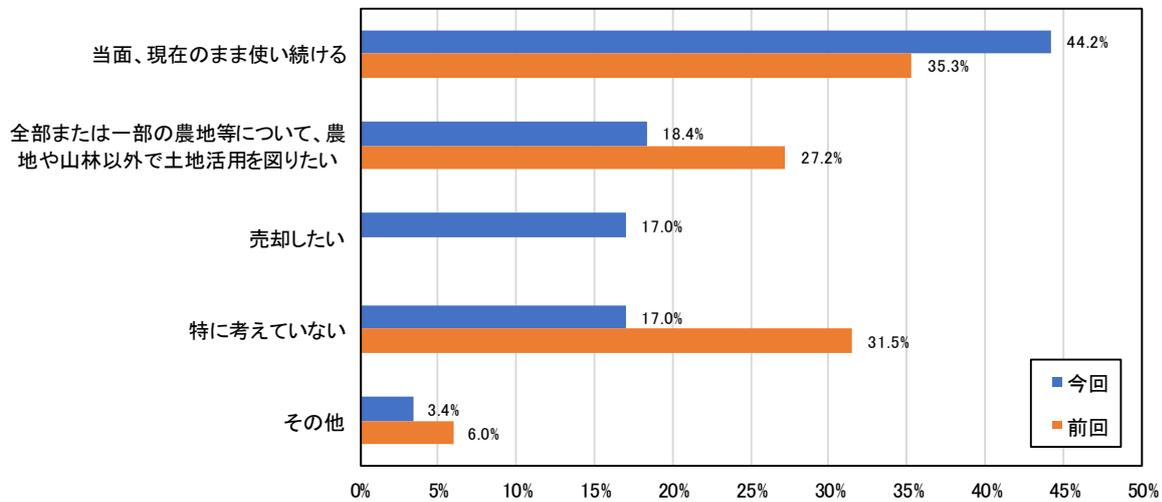


<所有する農地（田畑）や山林の使い方>

○農地(田畑)や山林を所有している方のうち、約 44%が「当面、現在のまま使い続ける」と回答している。「全部または一部の農地等について、農地や山林以外で土地活用を図りたい」が約 18%、「売却したい」が約 17%であり、あわせると約 35%の回答者が土地利用の転換にかかわる意向を持っていると考えられる。

問11 市街化調整区域の農地や山林の使い方について

今回 N=147 前回 N=235

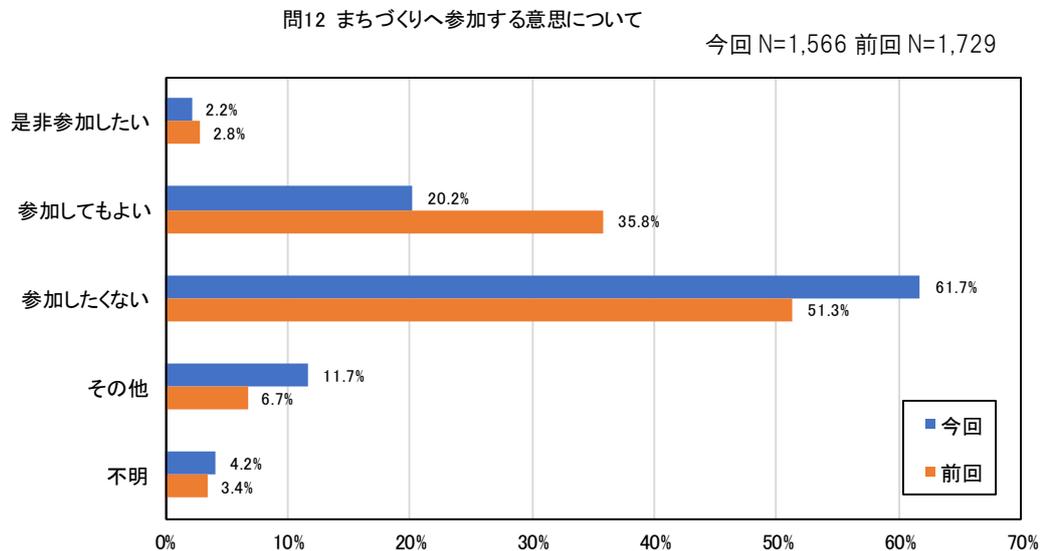


※構成比の母数は問8で2を選択した回答者の合計である

⑥まちづくりに対する市民参加の意向について

<市民懇談会（ワークショップ）への参加意向>

○小牧市の今後のまちづくりを考える市民懇談会への参加について、「ぜひ参加したい」「参加してもよい」をあわせると回答割合は約 22%を占めている。前回と比較すると、「参加してもよい」が減少し、「参加したくない」が増加している。



小牧市都市計画マスタープラン策定に関わる

市民アンケート調査

アンケート調査へのご協力をお願い

みなさまには、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本市では、平成 22 年 3 月に本市の目指すべき都市の姿を定めた小牧市都市計画マスタープランを策定し、まちづくりを進めておりますが、計画期間が平成 31 年までとなっています。

また、近年では少子高齢化を背景として、高齢者や子育て世代にとって、安心できる快適な生活環境を実現すること、財政面及び経済面において持続可能な都市経営を進めること等が、今後のまちづくりの大きな課題となっております。

このため、今年度より小牧市都市計画マスタープランの改定に着手することとしました。

つきましては、市民のみなさまからの率直なご意見を計画に反映するため、アンケート調査を実施いたします。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、この調査は、小牧市在住の 18 歳以上の方の中から、無作為に 3,000 人の方を抽出し、ご協力をお願いしております。ご回答いただいた内容は、計画の策定に必要な範囲で取り扱いさせていただきます。ご回答いただいた内容は、計画の策定に必要な範囲で取り扱いさせていただきます。ご回答いただいた内容は、計画の策定に必要な範囲で取り扱いさせていただきます。

平成 30 年 8 月 小牧市

ご回答にあたってのお願い

- できる限り封筒の宛名のご本人様がお答えいただくようお願いいたします。
- 回答欄は太い枠線で囲まれた箇所となります。
- 回答にあたっては、特に記載のない場合は、該当する項目の番号に○印をお付けください。ただし、「その他」を選択された場合は、() 内に具体的にその内容をご記入ください。
- 回答されたアンケート用紙は 9 月 10 日(月)までに同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、郵便ポストに投函してください。
- このアンケートについてのご質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。

小牧市 都市建設部 都市政策課 計画係
TEL (0568) 76-1155(直通) FAX (0568) 76-1144
E-mail toshi@city.komaki.lg.jp

はじめに、あなたのお住まいの小学校区をご回答ください。(1つに○印)

- | | | | |
|-------------|------------|-------------|------------|
| 1. 小牧小学校区 | 2. 村中小学校区 | 3. 小牧南小学校区 | 4. 三ツ淵小学校区 |
| 5. 味岡小学校区 | 6. 篠岡小学校区 | 7. 北里小学校区 | 8. 米野小学校区 |
| 9. 一色小学校区 | 10. 小木小学校区 | 11. 小牧原小学校区 | 12. 本庄小学校区 |
| 13. 桃ヶ丘小学校区 | 14. 陶小学校区 | 15. 光ヶ丘小学校区 | 16. 大城小学校区 |

※小学校区がわからない方は、町名・大字をご記入ください

小牧市 _____

記入例1：小牧市（小牧三丁目） 記入例2：小牧市（大字舟津）

ここからは、あなた自身のことについておたずねします。

問1 あなたの性別・年齢・職業・自動車運転の有無・公共交通（鉄道、バス）の利用頻度について、おたずねします。該当する番号に○をつけてください。

性別	1. 男性	2. 女性	
年齢	1. 18、19歳	2. 20歳代	3. 30歳代
	4. 40歳代	5. 50歳代	6. 60歳代
	7. 70歳以上		
職業	1. 勤め人（会社員、公務員、会社役員等）		
	2. 自営業（個人で事業を営んでいる人、自由業の人、家族従業者、農家等）		
	3. パート・アルバイト	4. 専業主婦・主夫	5. 学生
	6. 無職		
	7. その他（ ）		
自動車運転の有無	1. 日常的に運転する	2. あまり運転しない	3. 運転しない
公共交通（鉄道・バス）の利用頻度	1. ほぼ毎日	2. 週に5日くらい	3. 週に2～3日
	4. 週に1日くらい	5. 月に数回	6. 年に数回
	7. 利用しない		

問2 あなたは小牧市に住んでおよそ何年になりますか。該当する番号に○をつけてください。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上5年未満 |
| 3. 5年以上10年未満 | 4. 10年以上20年未満 |
| 5. 20年以上 | |

問3 あなたのお住まいの種類はどれになりますか。該当する番号に○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 一戸建ての持家（工場・店舗併設含む） | 2. 分譲マンション |
| 3. 一戸建ての借家 | 4. 共同賃貸住宅（アパート、公営住宅等） |
| 5. 社宅・寮等 | 6. その他（ ） |

ここからは、あなたがお住まいの地区（小学校区程度の範囲）の生活環境に対する評価や地区の将来像についておたずねします。

問4 あなたがお住まいの地区の環境や日常生活に関する以下の項目についてどの程度満足されていますか。また、今後、どの程度重要だと思いますか。次の「満足度」、「重要度」について、あなたのお考えに最も近い番号を1つずつ選び、番号に○をつけてください。

満足度・重要度に関する質問項目	満足度				重要度			
	満足	まあ満足	やや不満	不満	重要	まあ重要	あまり重要でない	重要でない
記入例) ○○○○○○について	1	2	3	4	1	2	3	4
ア. 河川や田畑、屋敷林や寺社境内の樹木などの身近な自然環境について	1	2	3	4	1	2	3	4
イ. 地域の歴史を残すものや風景について	1	2	3	4	1	2	3	4
ウ. 住まいの日照や風とおしについて	1	2	3	4	1	2	3	4
エ. 住まいが面する道路をはじめ生活道路の整備状況について	1	2	3	4	1	2	3	4
オ. 交通安全対策について	1	2	3	4	1	2	3	4
カ. 災害時の安全性(避難場所の近さ等)について	1	2	3	4	1	2	3	4
キ. 地域の防犯、治安対策について	1	2	3	4	1	2	3	4
ク. 鉄道やバスなどの公共交通の便について	1	2	3	4	1	2	3	4
ケ. 日常の買物のしやすさ(商店等の充実)について	1	2	3	4	1	2	3	4
コ. 医療施設(個人医院など)の利用のしやすさについて	1	2	3	4	1	2	3	4
サ. 福祉施設(介護老人保健施設、リハビリテーション施設など)の利用のしやすさについて	1	2	3	4	1	2	3	4
シ. 子育て支援施設(幼稚園、保育所など)の利用のしやすさについて	1	2	3	4	1	2	3	4
ス. 日頃利用する公園や子どもの遊び場について	1	2	3	4	1	2	3	4
セ. 下水道の整備について	1	2	3	4	1	2	3	4
ソ. 排水路の整備について	1	2	3	4	1	2	3	4
タ. 地域のコミュニティ活動について	1	2	3	4	1	2	3	4

ここでは、市街化調整区域の農地や山林の使い方についておたずねします。

問 10 あなたは市街化調整区域に農地（田畑）や山林を所有されていますか。

- 1. 所有している ⇒問 1 1 へ
- 2. 所有していない ⇒問 1 2 へ

問 11 (問 1 0 で「1. 所有している」を選ばれた方へおたずねします。) 今後、あなたがお持ちの農地等（全部または一部）について、どのような使い方を考えていますか。あなたのお考えに最も近い番号を 1 つだけ選び、○をつけてください。

- 1. 当面、現在のまま使い続ける
- 2. 全部または一部の農地等について、農地や山林以外で土地活用を図りたい。
- 3. 売却したい
- 4. 特に考えていない
- 5. その他 ()

ここでは、まちづくりに対する市民参加の意向についておたずねします。

問 12 今回の都市計画マスタープランの策定にあたり、市民のみなさまと今後のまちづくりを考える市民懇談会（ワークショップ）の開催を平成 31 年度に予定しています。（平日の夜間もしくは休日での開催を予定しています。）
このような会議に参加したいと思いますか。あなたのお考えに最も近い番号を 1 つだけ選び、○をつけてください。

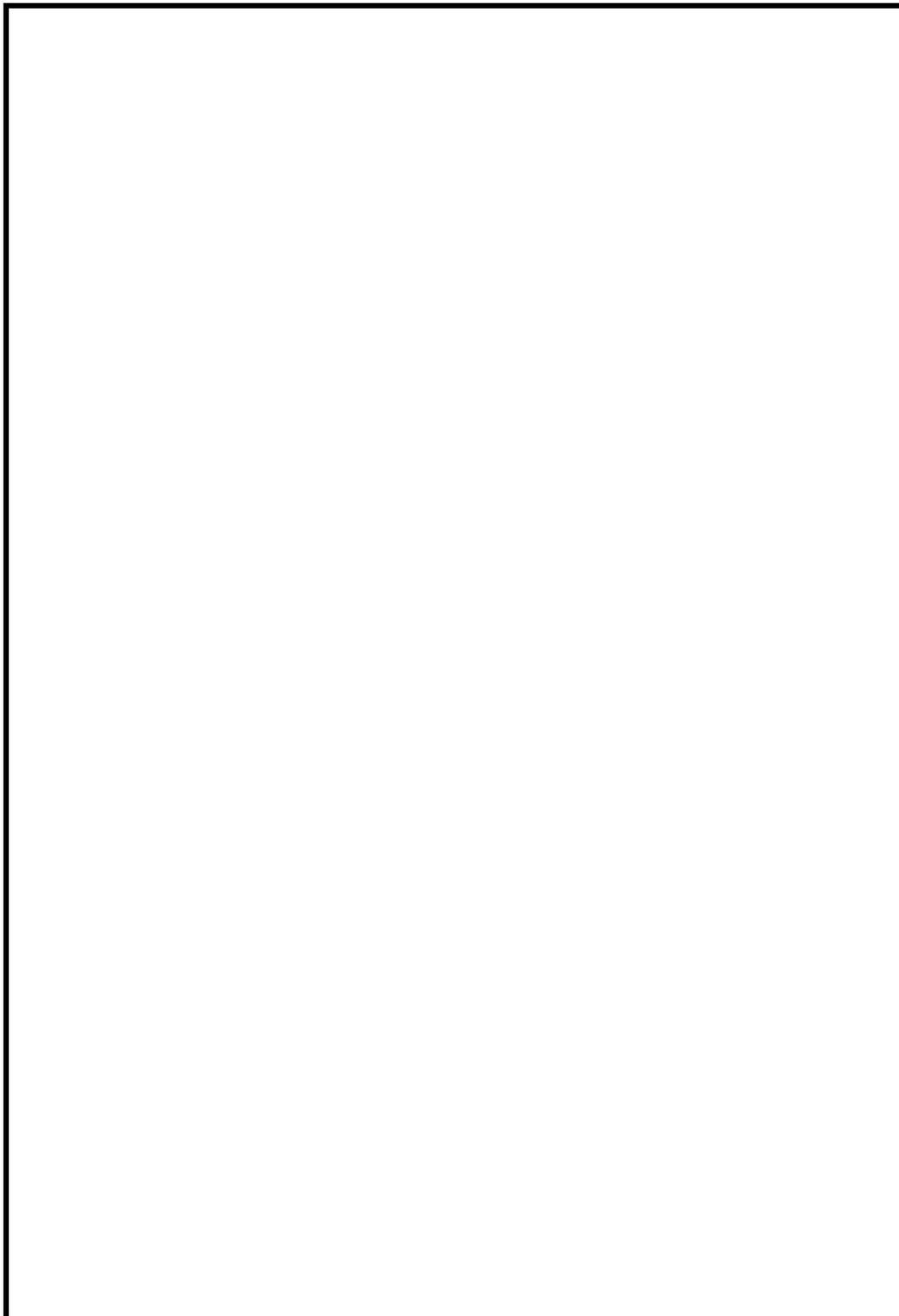
- 1. ぜひ参加したい
- 2. 参加してもよい
- 3. 参加したくない
- 4. その他 ()

※問 12 で、1. または 2. を選択された方にお願いします。

上記会議のメンバー募集の際に参考とさせていただきたいと思います。差し支えがなければ、お名前と電話番号の記入をお願いします。

お名前：
電話番号：

これで全ての質問は終わりです。最後に、小牧市のまちづくりに関して、ご意見などございましたら、ご自由にお書きください。



6 ご協力ありがとうございました。